

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	AIAI NURSERY 石原
施設所在地	墨田区石原4-37-4
法人名	AIAI Child Care株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

楽器を鳴らして音楽の楽しさを味わう。

<テーマの設定理由>

日頃から歌や手遊びなどの音楽が好きな為、音楽に合わせて
楽器を鳴らすことで、より音楽の楽しさを味わってもらいたいと考えた。

2. 活動スケジュール

- 1.鈴やマラカスなどの楽器を出し、好きな楽器を子どもに選んでもらう。
- 2.保育者がリコーダーで曲を吹き、その音楽に合わせて子どもが楽器を鳴らす。
- 3.何の曲が良いか子どもに問いかけながら次の曲を決める。
- 4.何曲か行い、楽器遊びを楽しむ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【環境設定】

子どもが好きな楽器を選べるように様々な楽器を用意した。

【準備した素材や道具】

リコーダー、鈴、マラカス

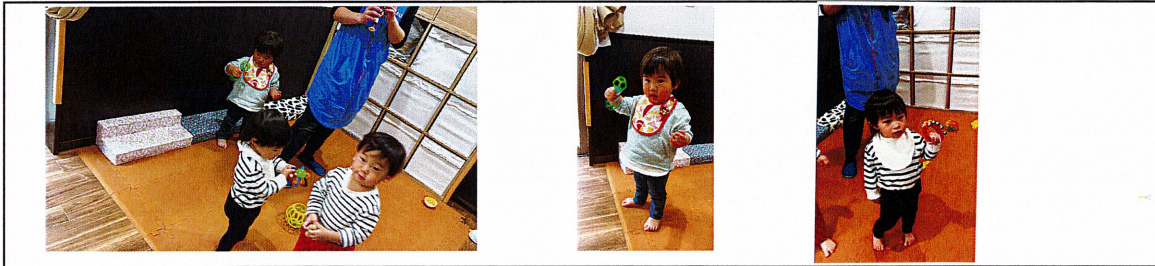
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

保育者のリコーダーの音に合わせて楽器を鳴らす。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

保育者のリコーダーの音に合わせて楽器を鳴らす活動を行い、自分で選んだ楽器を持って全身を使いながら楽器を鳴らす姿が見られた。保育者は子どもがやりたい曲を問いかけ、子どもは保育者に好きな曲を伝える姿があった。友だちが鳴らしている楽器の音を聴いたり、鳴らしている姿を見たりして笑顔を見せながら楽器遊びを行っていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

日頃から歌や手遊びを通して音楽に触れていたが、自分の好きな楽器を選んで曲に合わせて自由に音を鳴らすことで、より楽しんで音楽に触れている姿があった。また、音源ではなく保育者がリコーダーで曲を吹くことによって子どもの姿や興味に合わせてテンポや曲調を変えることができる為、より活動の展開を広げることができたと感じた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	AIAI NURSERY 石原
施設所在地	墨田区石原4-37-4
法人名	AIAI Child Care株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

様々な素材を使って音の違いを感じ音を鳴らして楽しむことを楽しむ。

<テーマの設定理由>

歌を聞くこと・歌うことにとても関心があり、日常の様々な音にも興味をもっている様子が多かったためテーマを音に設定した。季節が秋ということもあり、どんぐり拾いを行い、自分たちで拾ったどんぐりを使って音の違いに気づいたり、音を自分で鳴らして行うことを行い、音への興味をより深めてもらうために設定した。

2. 活動スケジュール

2024年10月 散歩時、どんぐり拾いを行う。

2024年11月 R1の容器にどんぐりなどの木の実、ビーズなどを一つずつ入れ、個数や入れるものによっての音の違いを感じる。それらを使って一人一つマラカスを作り、最後に季節の歌の「どんぐりころころ」に合わせて合奏を試みる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【環境】

2つのテーブルに分かれて椅子に座って行った。

【素材や道具】

小さいペットボトル（R1の廃材）、どんぐり、小さいまっぼっくり、ビーズ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

子どもたちが拾ったどんぐりを使って、小さいペットボトルの廃材（R1の容器）に一つずつ入れていき音の違いを感じた。また、小さいまつぼっくりやビーズなど違う素材を使ったらどんな音がするのか音の違いを感じた。その後一人一つのマラカス（小さいペットボトルの廃材にどんぐりなどの木の実、ビーズを入れたもの）を作り、「どんぐりころころ」を合奏した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

熱心に音を聞いており、容器に一つずつどんぐりを増やして入れて鳴らすと「おとがちがう」「からから鳴ってる」など音の違いを発言したり、音を言葉で表現しようとする姿が見られた。一人ひとりマラカスを製作することで子どもたち自身も改めて自分で鳴らして音を確認してみる姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

普段から歌や音に興味をもっている姿が多いので、今回の活動にとっても関心をもって取り組む姿が見られた。自分たちで拾ったものや季節のものを使ったことでより親しみをもって取り組めたのではないかと感じた。普段も成長を促すための様々な活動を用意しているが、こうして何かのテーマについて活動するというのは自分の中で良い経験であった。今後、違う音の違いなどにも取り組んでいきたいと考えた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	AIAI NURSERY 石原
施設所在地	墨田区石原4-37-4
法人名	AIAI Child Care株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

世界の国名や国旗について知り、楽しみながら学びを深めていく。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

日本以外にも様々な国があることは知っていたようで、日常会話の中で国名がいくつか挙がることもあった。また園内の活動で英語プログラムを取り入れていることもあり、興味関心を持っていた。一方でどのくらい多くの国があるのか、地球とはどのような形をしているものなのかを知る機会はありませんでした。今回活動に取り入れることにした。

2. 活動スケジュール

学習プログラムIQパズル内のBreak it Kidsや、KOKORO linguaの中で発せられる子どもの発言ややり取りの中から興味を引き出していく。英語に触れる中で、子どもたちから「外国」と発言があり、そこから「アメリカ」「中国」など日本以外の国名が挙がり会話が広がると同時に他にどのような国があるのか疑問を持つ姿があった。

子どもたちの疑問に沿って地球儀型のボールを活用し、地球の形や国名について話をした。同時に保育室内に世界の国旗一覧用紙を貼り出し、子どもたちが好きな時間に見ることができるよう環境設定をしたり、国旗のフラッシュカードを用いて国旗、国名についての学びを深めたりした。この活動をしたことで、以前よりも多くの国名が子どもたちから挙がるようになった。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

英語動画教材「Break it Kids」「KOKORO lingua」

地球儀型のボール、国旗一覧用紙、国旗のフラッシュカードを用意し、一斉活動の中で使用したり、自由に見ることができるように保育室内に置いたり環境を整えた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

英語動画教材「Break it Kids」「KOKORO lingua」
地球儀に触れる
国名を言うってみる
国旗を知る
国旗を描く

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
地球儀型ボールを見て「日本はここ!」と子どもたち自ら発したり、保育者の「ここはどんな名前の国かな?」等の問いに対して「アメリカ!」などと答える姿が多く見られた。また、自由遊びの時間に国旗一覧用紙を見ながら国旗を真似て描く様子もあった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

元から子どもたちが興味を持ってくれていた分野だったため、楽しみながら活動をする姿が多く見られた。一斉に活動をする時間も大切であるが、保育室内に地球儀型ボールや国旗一覧を用意しておくことで子どもたちが好きな時間に自ら学びを深めることができるため、保育室内の環境設定が重要であると感じた。